研究ノート――

《ジェセル王の壺》に関する一考察

三島 大暉

1. はじめに

皇居三の丸尚蔵館(以下、当館という。)の収蔵品には、皇室が世界の国々と交流する中で親善のかたちとして贈られたものが含まれており、各国の王室や首脳からの贈り物も少なくない。本稿では、昭和35年(1960)に昭和天皇(1901~1989)に対してガマル・アブデル・ナセル(Gamal Abdel Nasser、1918~1970、贈進時アラブ連合共和国大統領、以下、ナセル大統領という。)から贈られた古代エジプトの遺物である《ジェセル王の壺》を紹介するとともに、その考古学的価値および外交贈答品としての歴史的価値を明らかにするため、出土場所、製作技法、贈進経緯について考察を行う。

2. 概要

《ジェセル王の壺》は、口縁径17cm、胴部最大径35cm、底径16cm、器高42cm、重量28kgの石製容器であり、全体は壺形で、平底から肩部にかけてやや膨らみ、張り出した肩部から作出された口縁で急に狭くなる(カラー口絵8、カラー口絵9)。素材はアラバスター(alabaster)と伝わるが正しくはトラバーチン(travertine)であり (註1)、見た目も美しく加工がしやすいために統一国家形成以前の先王朝時代(紀元前4500年~紀元前3000年頃 (註2))より石製容器の素材として利用されてきた (註3)。当館の《ジェセル王の壺》の表面は、縞模様とマーブル模様を確認でき、壺内側に光源を入れると光が透過して橙色に見える。壺内側の底には微量な白色に近い砂を確認でき、乾燥した植物片または木片が混ざっている。壺の表面には製作時の銘や発掘時の整理番号、コレクション番号などを確認できない。

《ジェセル王の壺》に付属するアラブ連合共和国大統領署名の文書(カラー口絵10、カラー口絵11) (駐4) から1935年にエジプトのナイル川西岸サッカラ(Saqqara)に位置するジェセル王の階段ピラミッド(以下、階段ピラミッドという。)(カラー口絵12)の地下に広がる下部回廊の一つから発見された壺であることが分かっている。ジェセル王(Djoser、ホルス名:ネチェリケト)は、神の化身としてのファラオの権威が高まった古代エジプト古王国時代、その第3王朝(紀元前2686~2613年頃)の初代のファラオである。その名を冠する階段ピラミッドはジェセル王の墓として造られた古代エジプトにおける最初のピラミッドであり、後の第4王朝(紀元前2613~2494年頃)のギザの大ピラミッド(Great Pyramid of Giza)の造営などへつながっていく、エジプトにおける貴重な文化遺産である (駐5)。

《ジェセル王の壺》は、これまでに当館で1度展示されているが(第79回展「世界を巡る一古今東西の品々を集めて」、2018年1月13日~4月8日)、その重要性についてあまり知られていない。《ジェセル王の壺》は日本国内では類例を見ない貴重な考古資料であり、アラブの英雄といわれるナセル大統領から昭和天皇に贈られた由緒ある歴史資料である。

3. 類例品

当館の《ジェセル王の壺》と同じく、階段ピラミッドから発見された可能性のある類例品は、海外のミュージアムコレクションの中にいくつかみることができる。当然ながらエジプトのミュージアムにも収蔵されており、ウェブの情報に限られるが少なくともギザの大エジプト博物館(Grand Egyptian Museum) ($\pm i$)、サッカラのイムへテプ博物館(Imhotep Museum) ($\pm i$)、アレクサンドリア図書館付属考古学博物館(Bibliotheca Alexandrina Antiquities Museum)に収蔵されていることが分かる。具体的にどの程度の規模で収蔵されているか明らかではないが、大エジプト博物館に移送される前のエジプト考古学博物館(Egyptian

Museum in Cairo) やイムヘテプ博物館の展示風景写真から大小様々な石製容器が収蔵されているものと推測される。

エジプト以外ではルーブル美術館(フランス)やブルックリン美術館(アメリカ)などで確認することができ、アレクサンドリア図書館付属考古学博物館を含め、各館の収蔵品で個々の石製容器の詳細が明らかなものを管見の限り一覧化すると表1のとおりである。

それらの類例品は、メトロポリタン美術館の類例品を除き、表面の縞模様やマーブル模様が特徴的なアラバスター(実際はトラバーチン)製の大型の円筒形の壺や尖底の壺である。当館の《ジェセル王の壺》は平底でやや膨らみのある形状であるが、表面の色味や模様は共通する。また、来歴が分かるものの中には、ミュージアムが購入したもの、各国元首由来のもの、当館と同じくナセル大統領から贈られたものを確認することができる。このような類似する来歴については後述する。

4. 出土場所および石製容器の考古学的位置づけに関する考察

階段ピラミッドは、当時首都であったメンフィス(Memphis)の墓地であるサッカラにジェセル王の墓として建築家イムへテプ(Imhotep)によって建造されたもので、中庭や祭殿などの建物とともに壁で囲まれたピラミッド複合体(pyramid complex)を構成している。ピラミッドは矩形の平たいマスタバ墓から段階的に階段状になるよう建造されている。1837年のイギリス人エジプト学者ヴァイス(Richard William Howard Vyse)とペリング(John Shae Perring)による調査をはじめ何度か発掘調査が行われたが、1924年から1931年にかけて行われたイギリス人エジプト学者ファース(Cecil Mallaby Firth)とキベル(James Edward Quibell)らによる発掘調査の報告書 (註8)、1933年から1936年にかけて行われたフランス人エジプト学者ロエール(Jean-Philippe Lauer)らによる発掘調査の報告書 (註9) においてその構造と出土した石製容器の記載がある。これらに基づいて当館の《ジェセル王の壺》の出土場所や出土状況、考古学的位置づけについて考察を行う。

当館の《ジェセル王の壺》は階段ピラミッドの下部回廊の一つから発掘されているが、階段ピラミッドの下部構造には最初のマスタバ状の構造から20m以上地下の玄室に落ちる大きな竪坑が中央にあり、そのまわりに下部回廊がめぐらされている(Firth and Quibell 2007: Pl. 22)。そして、ピラミッド東側には30m以上地下に落ちる竪坑がいくつかあり、竪坑の底から西側に向かって伸びる下部回廊が複数存在する。下部回廊の一部からは棺や石製容器などが見つかっており、埋葬や副葬品を納めるのに使用されたと考えられている。報告書では時系列に作業内容が記載されており、それと照合すると当館の《ジェセル王の壺》は1935年という発掘年から東側の下部回廊VIまたはVII(Lauer 1939: Pl. I~II)から出土したものと考えられる。

ロエールらによる発掘調査報告書によれば、下部回廊VIとVIIは盗掘の被害を受けておらず、3万点から4万点(後の研究ではおよそ4万点ともいわれる (註10) の石製容器やその破片が発掘されており、そのうち数百点がほとんど無傷であったという。石製容器は、その製作にかかわる時間や労働力が必要になるため価値のある副葬品と考えられており、初期王朝時代(紀元前3000~2686年頃)にもサッカラやアビドス(Abydos)の王族や高官の墓から大量に出土している (註11)。階段ピラミッドから発見された石製容器の内容としては、壺のほか、皿、杯、鉢の形態が見られ、材質(報告書の表記に従った岩石名称)はアラバスターが最も多く、角礫岩、頁岩、閃緑岩、ドロマイト、大理石、花崗岩、アラゴナイト、石英、水晶、蛇紋岩などがある(Lauer 1939: Pl. XIII)。報告書に掲載された写真や図版には当館の《ジェセル王の壺》と一致するものは確認できないが、下部回廊VIIの発掘時の写真を参照すると、石製容器の破片の山の中に状態の良い石製容器がいくつか含まれていることを確認できる(Lauer 1939: Pl. XI)。また、発掘された石製容器やその破片を保管していた倉庫の写真では当館の《ジェセル王の壺》と形が近い壺(肩部がやや低い壺)が置かれていることを写真右下に見ることができる(Lauer 1939: Pl. XV)。当館の《ジェセル王の壺》はトラバーチン(報告書ではアラバスター)製という最も出土数の多い材質の石製容器ではあるが、割れや目立つ傷が見ら

表1 類例品の一覧

画像	名称 * 1	時代・年代 * 1	材質 * 1 * 2	サイズ * 1	来歴 * 3	収蔵	参照先
© BA Antiquities Museum/M. Sobhy	円筒状容器 (Cylindrical- shaped vessel)	古王国時代 第 3 王朝 (2686-2613 BCE)	アラバスター	高さ:30cm 直径:16.1cm	サッカラ出土、 ジェセル王の副葬品	アレクサンドリア 図書館付属考古学 博物館 (エジプト)	https://antiquities. bibalex.org/Collection/ Detail.aspx?lang=en&a =696
© BA Antiquities Museum/M. Sobhy	円筒状容器 (Cylindrical- shaped vessel)	古王国時代 第 3 王朝 (2686-2613 BCE)	アラバスター	高さ:30.8 cm 直径:13cm	サッカラ出土、 ジェセル王の副葬品	アレクサンドリア 図書館付属考古学 博物館 (エジプト)	https://antiquities. bibalex.org/Collection/ Detail.aspx?lang=en&a =698
© 2015 Musée du Louvre/Département des Antiquités égyptiennes	突帯付容器 (jarre à bourrelet)	ジェセル王 時代 (3100-2620 BCE)	エジプト産 アラバスター	高さ:80cm 直径:26cm	1927年 にジェセル王のピラミッド複合体から発掘 1931年にルーブル美術館購入 売主: Service des Antiquités de l'Égypte 関係者: Firth, Cecil Mallaby	ルーブル美術館 (フランス)	https://collections. louvre.fr/en/ark:/ 53355/cl010010191
© 2015 Musée du Louvre/Département des Antiquités égyptiennes	容器 (jarre)	ジェセル王 時代 (3100-2620 BCE)	エジプト産 アラバスター	高さ:93.5 cm 直径:36.5 cm	1927年にジェセル王のピラミッド複合体から発掘 1931年にルーブル美術館購入 売主:Service des Antiquités de l'Égypte 関係者:Firth, Cecil Mallaby	ルーブル美術館 (フランス)	https://collections. louvre.fr/en/ark:/ 53355/cl010010061
© 2015 Musée du Louvre/Département des Antiquités égyptiennes	容器 (vase)	第 2 王朝 (3100-2700 BCE)	エジプト産 アラバスター	高さ:51cm 直径:25cm	ジェセル王のピラミッド下部 回廊から発掘 1965年にシャルル・ド・ゴール がルーブル美術館に寄贈	ルーブル美術館 (フランス)	https://collections. louvre.fr/en/ark:/ 53355/cl010004042
CC BY (Brooklyn Museum)	ジェセル王のピラ ミッド複合体から発 掘された容器 (Jar from Djoser's Pyramid Complex)	古王国時代 第 3 王朝 (ca.2675- 2625 B.C.E.)	エジプト産 アラバスター	高さ:62.5 cm 直径:22.4 cm	Charles Edwin Wilbour Fund	ブルックリン美術館 (アメリカ)	https://www. brooklynmuseum.org/ opencollection/ objects/3330
CC BY (Brooklyn Museum)	ジェセル王のピラ ミッド複合体から発 掘された容器 (Jar from Djoser's Pyramid Complex)	古王国時代 第 3 王朝 (ca.2675- 2625 B.C.E.)	エジプト産 アラバスター	高さ:58.5 cm 直径:12.8 cm	Charles Edwin Wilbour Fund	ブルックリン美術館 (アメリカ)	https://www. brooklynmuseum.org/ opencollection/ objects/3331
CC BY (Brooklyn Museum)	ジェセル王のピラ ミッド複合体から発 掘された容器 (Jar from Djoser's Pyramid Complex)	古王国時代 第 3 王朝 (ca.2675- 2625 B.C.E.)	エジプト産 アラバスター	高さ:74.3 cm 直径:14.2 cm	Charles Edwin Wilbour Fund	ブルックリン美術館 (アメリカ)	https://www. brooklynmuseum.org/ opencollection/ objects/3332
Public Domain	カップ (Cup)	古王国時代 第 3 王朝 (ca.2649- 2100 B.C.E.)	土器	高さ:7.5 cm 直径:10.9 cm	サッカラ・ジェセル王のピラミッドあたりでEgyptian Antiquities Service により発掘 1928年にメトロポリタン美術館がエジプト政府より購入 (Rogers Fund)	メトロポリタン美 術館(アメリカ)	https://www. metmuseum.org/art/ collection/search/ 551010

画像	名称 * 1	時代・年代 * 1	材質 * 1 * 2	サイズ * 1	来歷 * 3	収蔵	参照先
CC BY (Medelhavsmuseet)	容器 (Vase)	古王国時代 第 3 王朝 (ca.2687- 2649 B.C.E.)	アラバスター	高さ:35.3 cm	1935年にサッカラ・ジェセル 王の階段ピラミッドの下部回 廊から発掘 1962年にナセル大統領がグス タフ6世に贈る	国立世界文化博物 館 地中海・近東 古美術博物館(ス ウェーデン)	https://collections. smvk.se/carlotta- mhm/web/object/ 3016100
CC BY (Medelhavsmuseet)	容器 (Vase)	古王国時代 第 3 王朝 (ca.2687- 2649 B.C.E.)	アラバスター	高さ:69cm	1935年にサッカラ・ジェセル 王の階段ピラミッドの下部回 廊から発掘後、グスタフ6世 に渡る	国立世界文化博物 館 地中海・近東 古美術博物館(ス ウェーデン)	https://collections. smvk.se/carlotta- mhm/web/object/ 3016124
©Museum of Yugoslavia	アラバスター製容器 (Alabaster jar)	ca. 2750. B.C.E.	アラバスター	高さ:69.3 cm 直径:22.5 cm	1935年 にMinistry of Antiquitiesによりジェセル王のピラミッドから発掘 1956年にナセル大統領がチトーに贈る	ユーゴスラビア博 物館(セルビア)	https://mau.rs/images/ publications/ Epublications/ Egipat_u_secanju_ Srbije_e_izdanje.pdf

- *1 名称、時代・年代、材質、サイズの情報は参照先の情報を執筆者により翻訳したものを記載している。
- *2 材質のアラバスターやエジプト産アラバスターは本文中で述べたとおり正しくはトラバーチンである。 *3 来歴の情報は参照先の情報を執筆者により抜粋して翻訳したもので、国立世界文化博物館 地中海・近東古美術博物館の来歴は情報の齟齬が見られたため問い合わせて得られた情報を記載している。

れないことから大量に出土した石製容器の中でも状態が良いものであり、完形品として考古学的価値があり、かつ鑑賞に堪える美しい壺の一つと言えるだろう。

階段ピラミッドの下部回廊VIとVIIから出土した石製容器の中には、ジェセル王より前の初期王朝時代第1 王朝(紀元前3000~2890年頃)や第2王朝(紀元前2890~2686年頃)のファラオの称号や名前のヒエログリフといった銘が表面に見られるものがあり、それらが当初収められた場所から階段ピラミッドに集積されたことが上記報告書などで指摘されている。当館の《ジェセル王の壺》には銘が見られないが、ジェセル王の治世より前に製作され、その後階段ピラミッドの下部回廊に集積された壺である可能性がある。

5. 製作技法に関する考察

石製容器の製作技法については、発掘に携わったキベルにより石製容器の外形を加工してから内側に穴をあけ、それには筒状ドリルが使用されたことが指摘されている(実際に筒と筒状の石材が出土している) (注12)。また、出土した資料や壁画に描かれた製作する様子をもとに、実際に道具を再現して製作実験を行ったストックス(Denys Allen Stocks)により、石製容器の製作技法は次のように考えられている (注13)。 石製容器はまず石材を銅製の斧や鑿、金槌などを使用して容器の大きさに切り出して外形を加工する。口縁下のくびれ部はフリント製のスクレイパーも利用する。外形ができたら表面全体を滑らかにするために粒度を変えた砂岩で磨く。容器とするために内側に穴をあける方法は第3王朝の壁画に描かれた方法を実験的に再現したTRTD(Twist/Reverse Twist Drill)がある。これは重しをつけた木の棒の先に銅製や青銅製の筒をつけたものを石材の上に置き、それを時計回りに回し、反時計回りに回して元の位置に戻すことを繰り返して石材を下に削っていくものである。直径の異なる筒で削ることで円筒状に石材の塊を取り出すことができ

る。その後、口縁を整え、口縁の直径よりも横幅の長い八の字形穿孔器を縦に入れ、研磨砂を入れてその穿孔器を木の棒で挟んで回していくことで容器内側を削って拡幅していく(口縁が広い場合は手で削っていくこともある)。底に向かって削っていく際には拡幅する形状に合わせた穿孔器が使用され、その後容器内側に残された段差を研磨して取り除く(図1)(註14)。

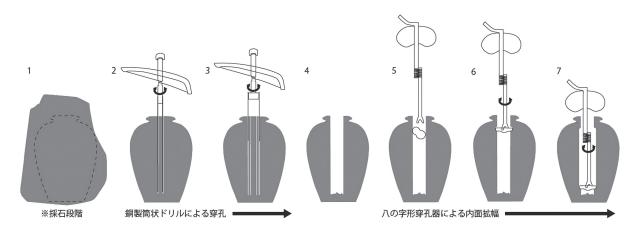


図1 石製容器の穿孔過程(http://www.reshafim.org.il/ad/egypt/trades/stone vessels.htm を参考に竹野内作成)

これらを踏まえて、当館の《ジェセル王の壺》の製作痕跡を見ていく。口縁上部は擦痕に特定の方向性は見られないが、口縁の内側と外側の側面にはヨコ方向の擦痕が見られる。口縁下のくびれ部には口縁側の上部に壺を回転させて削ったような1周する段差が見られる(カラー口絵13)。そのさらに口縁側の上部には1周しない直線状の段差(カラー口絵13)と、肩部にはそれと並行するような交差する右ナナメ上方向と左ナナメ上方向の直線状の擦痕(カラー口絵14)がある。このような擦痕は口縁近くの肩部を1周するように確認することができ(図2)、口縁下のくびれ部から肩部にかけては壺を回転させずに仕上げられていることが分かる(スクレイパーを使用した可能性もある)。そのほか壺外側の肩部から胴部、底部は擦痕の方向性を確認できない。

壺内側について、肩部から胴部は擦痕の方向性を確認できない。底部は、実測図(図3)と外側から照明をあてた際に容器の厚みの差で濃淡が見られるように(カラー口絵15)、同心円状のゆるやかな凹凸と中央に盛り上がりを確認でき、筒状ドリルによる穿孔の痕跡と考えられる。また、実測図のとおり底部から胴部、胴部下方、胴部上方、くびれ部といった角度が変化する内側4段に壺を一周するゆるやかな盛り上がりを確認でき、八の字形穿孔器を回転させて内側を削った際にできた段差の痕跡と考えられる。

以上のように、当館の《ジェセル王の壺》はこれまで想定されてきた石製容器の製作技法と同様の方法で製作された可能性があることを痕跡から確認できる。一方でくびれ部口縁側上部に見られる、壺を1周する 段差や口縁内外側面のヨコ方向に平行な擦痕から壺を回転させて表面を整えている可能性がある点は、先王 朝時代の石製容器では回転させて削った痕跡は見られないとされる (註15) ことや、土器成型時の回転台の確実な登場は壁画では古王国時代第5王朝や第6王朝である (註16) ことから、さらなる検討が必要だろう。

6. 贈進経緯に関する考察

《ジェセル王の壺》は、昭和35年(1960)4月20日、仮宮殿(現宮内庁庁舎3階)の謁見の間において、アラブ連合共和国 (駐17) 国務大臣アリ・サブリおよび同夫人を昭和天皇と香淳皇后が御引見になった際に、同大臣を通じてナセル大統領からの贈進品として受けられたものである (駐18) (駐19)。エジプトの為政者が同国の遺物を公的な増進品とする風習は、オスマン帝国で頭角を現し、ムハンマド・アリー朝の創始者となったムハンマド・アリー(Muhammad 'Ali、1769~1849)の時代から、ナセル大統領の次の大統領であるサダト

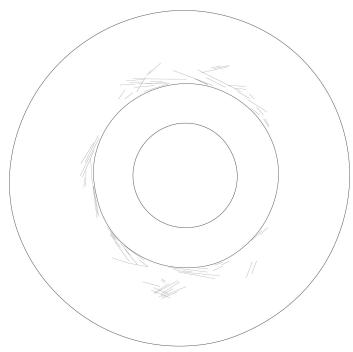


図2 《ジェセル王の壺》口縁付近の肩部に見られる擦痕の模式図 (真俯瞰写真より書き起こして執筆者作成)

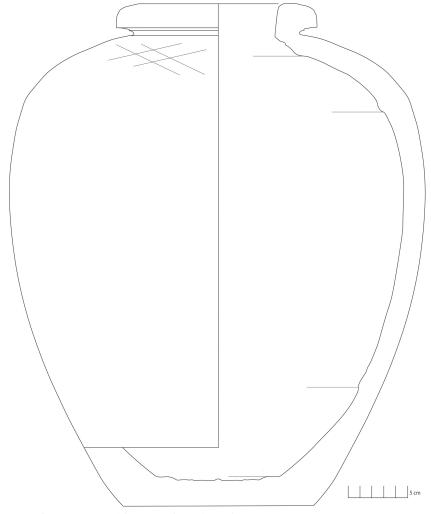


図3 《ジェセル王の壺》実測図(執筆者作成)

大統領(Anwar Al-Sadat、1918~1981)の時代まで行われた。贈る品としては神々の像、アラバスター製容器、アミュレットなどがあった。ナセル大統領も1960年代のアスワン・ハイ・ダムの建設に伴うアブ=シンベル神殿などヌビア地方の遺跡群を救出するキャンペーン(以下、ヌビア遺跡救済キャンペーンという。)に関わる国に対してエジプトの遺物を贈っている (註20)。

ヌビア遺跡救済キャンペーンは、1959年4月にアラブ連合共和国政府、同年10月にスーダン共和国政府が水没する遺跡の保護の国際的援助をユネスコ(国際連合教育科学文化機関)に要請したことにより、第55回ユネスコ執行委員会で援助要請が承認され、1960年3月にユネスコの宣明により開始された。このヌビア遺跡救済キャンペーンの名誉委員会はスウェーデン国王グスタフ6世(Gustaf VI Adolf、1882~1973、在位1950~1973)を委員長として、日本からはオリエント研究者であった三笠宮崇仁親王(1915~2016)が1960年2月に委員に就任した。日本政府もユネスコ加盟国として外務省、文部省、日本ユネスコ国内委員会などが中核となり協力し(註21)、ヌビア遺跡救済キャンペーンに対して1969年3月までに6万ドルを拠出している(註22)。アラブ連合共和国は、ヌビア遺跡救済キャンペーンで供与される国際援助への返礼として、現在メトロポリタン美術館(アメリカ)やライデン国立古代博物館(オランダ)などに展示されている神殿のほか、次のような国家保有物を援助国に対して提供しているという(註23)。ナセル大統領が贈ったエジプトの遺物は具体的にはこのようなものだったことが分かる。

政府は国家保有物からも多くのものを提供している。それらの中には、赤花こう岩のアメノフィス二世の胸像、オシリスを表しているセヌサート一世の砂岩像、同じくセヌサート王の砂岩の頭像、供物、テーブル、木製像、雪花石膏花びん、土器、サッカラの古墳で発見された宝石、GurnahのSekhmet女神の花こう岩像及び半身像、同じ遺跡の石棺、サッカラに在るゾセルのステップピラミッドからの雪花石膏花びん及びテーブル等がある。

この中で注目されるエジプトの遺物が「ゾセルのステップピラミッドからの雪花石膏花びん」である。「ゾセル」は現在日本で一般的に使用される表記では「ジェセル」であり、ステップピラミッドは日本語に訳すと階段ピラミッドになる。雪花石膏はアラバスター(alabaster)を日本語に訳したものであり(2章で述べたとおり正しくはトラバーチン)、花びんはvase(容器や壺とも訳される)を日本語に訳したものである。つまり「ジェセル王の階段ピラミッドからのトラバーチン製容器」となり、当館の《ジェセル王の壺》が該当する。

また、3章で述べた類例品のうち、当館の《ジェセル王の壺》と同じくナセル大統領から贈られたものを2件確認することができる。1件目は国立世界文化博物館の地中海・近東古美術博物館(スウェーデン)が収蔵するもので、1962年にナセル大統領からスウェーデン国王グスタフ6世に贈られたものである。グスタフ6世は考古学に深くかかわり、前述したとおりヌビア遺跡救済キャンペーンの名誉委員会委員長でもあった。2件目はユーゴスラビア博物館(セルビア)が収蔵するもので、1956年にナセル大統領からユーゴスラビア大統領チトー(Josip Broz Tito、1892~1980)に贈られたものである。ナセル大統領とチトー大統領は1955年に政治的、経済的、文化的レベルで将来的に協力していくことを確認している (註24)。そのほか、ルーブル美術館が収蔵するものは、1965年にフランス大統領シャルル・ド・ゴール(Charles De Gaulle、1890~1970)が寄贈しており、1960年代という時代、そしてナセル大統領とド・ゴール大統領が個人的にも友好であった (註25) ことから、ナセル大統領から贈られたものである可能性がある。なお、ユーゴスラビアとフランスもヌビア遺跡救済キャンペーンに協力した国である (註26)。

以上を踏まえると、当館の《ジェセル王の壺》は、日本とエジプトの親善のかたちとして昭和天皇へ贈られたものであるが、1960年4月という贈進の時期を時系列から考えれば、三笠宮崇仁親王が1960年2月に名誉委員会委員に就任するといった日本がヌビア遺跡救済キャンペーンに協力する動きと関係している可能性も考えられる。

7. おわりに

本稿では、当館が収蔵する《ジェセル王の壺》について、その概要と海外のミュージアムに収蔵されている類例品を紹介した。そのうえで、《ジェセル王の壺》が発見されたジェセル王の階段ピラミッドの下部回廊をVIまたはVIIと推定し、出土状況から石製容器の中でも完形品として考古学的価値があることを指摘した。また、先行研究を踏まえて表面の擦痕や内側の盛り上がりなどから製作技法を考察し、これまで想定されてきた石製容器の製作技法と同様の方法で製作された可能性を指摘した。くわえて、贈進経緯についてエジプトにおける贈答儀礼に関する文献や類例品の来歴を踏まえて、《ジェセル王の壺》が日本とエジプトの親善のかたちで昭和天皇へ贈られただけでなく、1960年に開始されたヌビア遺跡救済キャンペーンに協力した日本との関わりを指摘し、《ジェセル王の壺》の歴史的価値を示した。

課題としては、本稿では《ジェセル王の壺》の底に見られる白色に近い砂などを化学的に分析することができなかった。また、表面に銘は確認できないが、赤外線分析などにより明らかになる可能性がある。さらに階段ピラミッド以外で類似する形態の石製容器が見られる (株27) ことから、石製容器としての型式学的分析を行うことで製作年代がより明らかになる可能性がある。

当館には《ジェセル王の壺》に限らず、中東地域に由来する考古資料や美術工芸品を国内では比較的多く 収蔵しており、今後それらを総合的に調査研究することで、中東地域における物質文化研究に資するだけで なく、皇室と中東諸国との交流や贈答儀礼を俯瞰的に捉えていきたい。

(みしま たいき 当館学芸部管理・情報課研究員)

註

- (1) Harrel, J. A. 2013 Ornamental Stones. In Willeke Wendrich (ed.), *UCLA Encyclopedia of Egyptology*. Los Angeles. https://escholarship.org/uc/item/4xk4h68c, (2024–12–03 Accessed).
- (2) 河合 望 2021『古代エジプト全史』雄山閣 による。以降、古代エジプト史における年代は本書に従う。
- (3) Lucas, A. and J. R. Harris 2012 Ancient Egyptian Materials and Industries. Fourth Edition. New York, Dover Publications.
- (4) 英語文書およびアラビア語文書の左上にはエンボスによりアラブ連合共和国の国章が表され、右上にはアラビア語のディーワーニー体(Diwani)で الجمهورية العربية العنية المنحدة الرئيس (アラブ連合共和国大統領)を表す緑色のスタンプが押されている。ディーワーニー体はオスマン朝宮廷で公文書を発行する際の特別な書体として用いられた(東京国立博物館2021『マレーシア・イスラーム美術館精選 イスラーム王朝とムスリムの世界』東京国立博物館、p.175)。
- (5) ジェセル王の階段ピラミッドは、ユネスコ世界文化遺産「Memphis and its Necropolis the Pyramid Fields from Giza to Dahshur」の構成資産である。
- (6) El-Aref, N. "King Djoser funerary collection arrives at Grand Egyptian Museum", ahramonline, 2016–08–08. https://english.ahram.org.eg/NewsContent/9/44/238224/Antiquities/Museums/King-Djoser-funerary-collection-arrives-at-Grand-E.aspx, (2024–12–03 Accessed).
- (7) "Stepping Inside the Step Pyramid of Djoser", Sailingstone Travel, 2020-03-13 (2024-09-19 Updated). https://sailingstonetravel.com/stepping-inside-the-step-pyramid-of-djoser/, (2024-12-03 Accessed).
- (8) Firth, C. M. and J. E. Quibell (1935) 2007 *Excavations at Saqqara: The Step Pyramid.* vol. 1 & vol. 2. Mansfield Centre, CT, Martino Publishing.
- (9) Lauer, J.-P. 1939 La pyramide a degres. 3 vols. Cairo, Imprimerie de l'Institut Français d'Archéologie orientale.
- (10) Regulski, I. 2009 Investigating a new Dynasty 2 necropolis at South Saqqara. *British Museum Studies in Ancient Egypt and Sudan* 13: 221–237. https://citeseerx.ist.psu.edu/document?repid=rep1&type=pdf&doi=5a1aad6291eb9e515778a258 cc266b168be2e88a, (2024–12–03 Accessed).
- (11) Raffaele, F. 2005 Stone Vessels in Early Dynastic Egypt. *Cahiers Caribeens d'Egyptologie* 7–8. http://www.francescoraffaele.com/egypt/hesyra/Stone%20Vessels_CCdE7–8.pdf, (2024–12–03 Accessed).
- (12) Quibell, J. E. 1935 Stone vessels from the Step Pyramid. Annales du Service des Antiquités de l'Égypte 35: 76-90.
- (13) Stocks, D. A. 2023 Making Stone Vessels. *Experiments in Egyptian Archaeology: Stoneworking Technology in Ancient Egypt.* Second Edition. London, Routledge: 143–175.
- (14) 竹野内恵太 2016「エジプト初期王朝時代における石製容器の生産・流通メカニズム」『西アジア考古学』第17号、 p.117-136
- (15) Payne, J. C. 1993 Catalogue of the Predynastic Egyptian Collection in the Ashmolean Museum. Oxford, Clarendon Press: 131–145.

- (16) Doherty, S. K. 2016 *The Origins and the Use of the Potter's Wheel in Ancient Egypt.* PhD Thesis, Cardiff University. https://orca.cardiff.ac.uk/id/eprint/45612, (2024–12–03 Accessed).
- (17) 土屋一樹 2013「第1章 エジプトの対外政策と地域秩序」『中東地域秩序の行方:「アラブの春」と中東諸国の対外政策』日本貿易振興機構アジア経済研究所、p.13-35 https://doi.org/10.20561/00030893, (2024-12-03 Accessed) によれば、アラブ連合共和国は、エジプト革命により建国されたエジプト共和国第2代大統領であったナセル大統領のもと、アラブ民族主義の実践として、1958年にエジプトとシリアとの合併により形成されたが、1961年のシリアの脱退によって連合は解消された。
- (18) 宮内庁 2017 『昭和天皇実録』第13、p.47
- (19) 外務省 1961「わが外交の近況」昭和36年度(第5号) 中近東関係 https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/bluebook/1961/s36-2-2-7.htm#31, (2024-12-03 Accessed)によれば、アラブ連合共和国国務大臣アリ・サブリは、日本政府の賓客として、1960年4月18日に来日、4月27日まで滞在し、岸信介内閣総理大臣をはじめ政府ならびに民間の要人と会談したほか、各種産業、文化施設を視察している。
- (20) Piacentini, P. 2013 The antiquities path: from the Sale Room of the Egyptian Museum in Cairo, through dealers, to private and public collections. A work in progress. *EDAL*. IV 2013/2014. Milano, Pontremoli Editore: 105–130.
- (21) 日本ユネスコ国内委員会 1970『ユネスコ資料2』、p.121、122、126
- (22) 外務省 1970「わが外交の近況」昭和44年度(第14号)国連専門機関 https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/bluebook/1970/s44-2-4-9.htm, (2024-12-03 Accessed).
- (23) 日本ユネスコ国内委員会 1970 『ユネスコ資料2』、p.133
- (24) Jovanović, A. M. 2014 Gifts for Tito: Egypt in the Collections of the Museum of Yugoslav History. In Emilia Epštajn (ed.), *Egypt Remembered by Serbia*. Belgrade, The museum of African art: The Veda and Dr Zdravka Pečara Collection: 68-69.
- (25) Sleiman, M. "A French affair", ArabianBusiness, 2008–11–25. https://www.arabianbusiness.com/politics-economics/a-french-affair-82213, (2024–12–03 Accessed).
- (26) UNESCO Office Cairo and Regional Bureau for Science in the Arab States 2020 *International Campaign to Save the Monuments of Nubia*. https://unesdoc.unesco.org/ark:/48223/pf0000374553, (2024–12–03 Accessed).
- (27) Garstang, J. 1904 Tombs of the third Egyptian dynasty at Reqûqnah and Bêt Khallâf, London: Pl. XIなどがある。

謝辞

本稿では、竹野内恵太氏より古代エジプト史およびその石製容器についてご助言を賜り、図版の掲載もご許可いただいた。また、Sofia Häggman氏にはスウェーデン地中海・近東古美術博物館の類例品の来歴について詳細をご教示いただいた。ここに記して深く感謝申し上げます。



8 《ジェセル王の壺》全姿 当館収蔵



9 《ジェセル王の壺》口縁部分

نالمورية رفيرية بالمحرة ماريخ

A POT FOR THE KING ZOSER

- A veined pot of Egyptian alabaster, kept by King Zoser in Sakkara Step Pyramid to be used in the Future Life, which the Ancient Egyptians believed to begin after death.
- It dates back to the Third Dynasty of the Old Kingdom, which ruled Egypt in about 2750 B.C. and it is positive of the dexterity of the Egyptian artisans at that time.
- It was discovered in 1935 in one of the lower galleries of Sakkara Step Pyramid.
- It is 42 cms. in height and 35 cms. in diameter.

ن فررنة الغربية المنقرة مرتب

اناء للملك زوسر

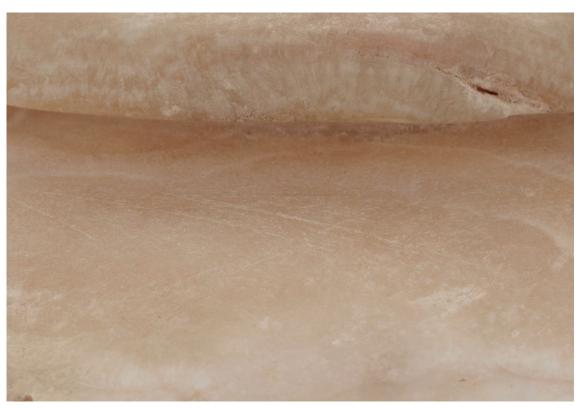
- انا مجزع من المرمر المصرى كان يحتفظ به الملك زوسر فى هرم سقارة المسدرج
 لاستعماله فى الحياة الأخرى التى كان قدما المصريين يعتقدون بأنها تبسدأ
 بعد الموت •
- _ يرجع تاريخ هذا الاناء الى الأسرة الثالثة من الدولة القديمة التى كانت تحكـــم مصر حوالى عام ٢٢٥٠ قبل الميلاد وهو يدل على مدى المهارة التى بلغهــــا الصناع المصريون فى ذلك الوقت ٠
- اكتشف هذا الاناء في سنة ١٩٣٥ في احد ممرات هرم سقارة المدرج السفلية ٠
 - _ ارتفاع الانا ٢٤ سنتيمترا وقطره ٣٥ سنتيمترا



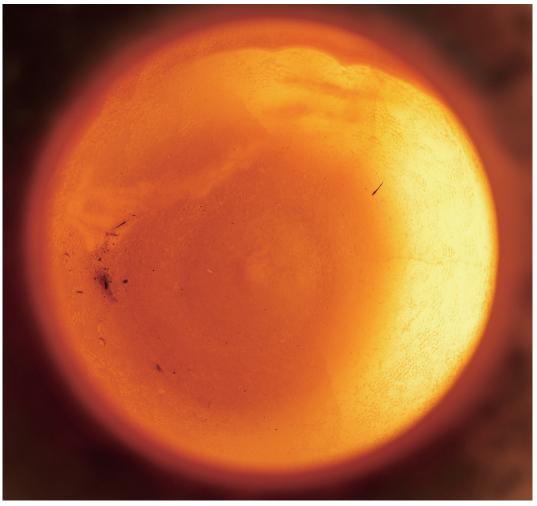
12 ジェセル王の階段ピラミッド (2015年執筆者撮影)



13 《ジェセル王の壺》口縁側上部の段差



14 《ジェセル王の壺》肩部のナナメ方向の直線状の痕跡



15 《ジェセル王の壺》底部の同心円状のゆるやかな凹凸(外側から照明をあて内部を撮影)

考古学、 科学等) に関わる事業・ を題材とし、 た審査をし、 このうち、 掲載内容は、 本紀要の投稿原稿は、 査読はないものとします。 における研究、 博物館学、 関連諸学 採用決定したものを掲載しています。 事業・事例等報告や調査概報について 事例等報告とします。 収蔵品および館の業務に関わるもの 博物館教育、 (美学・美術史学、 および上記以外の館の活動 編集委員において査読を経 博物館情報、 歴史学、 保存

当時のものです。 名や作者、制作年などの表記は、 『尚蔵―皇居三の丸尚蔵館紀要』 紀要発行 中、作品

丸尚蔵館に属し、本ファイルを改変、再配権は独立行政法人国立文化財機構皇居三の『尚蔵―皇居三の丸尚蔵館紀要』の著作 きません。 布するなどの行為は 有償・無償を問わずで

編 集 委

委員長 員

建 石

徹

浩 之

聖

真 行 愛

瀬

谷

髙 五 戸 梨 味 田

尚 蔵 -皇居三の丸尚蔵館紀要 1〇二四(令和六)年度 創刊号(通号三〇号)

発編 行集

東京 皇 千代田区千代田 0 丸 尚 蔵

館

北海道札幌市中央区北三条東五-五-株 式 会 社 ア イ ワ 1 九 ۴

制 作

Щ \Box I敏之 (株式会社イー・ シー)

翻訳

1〇二五年三月三一日発行